



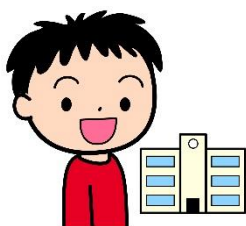
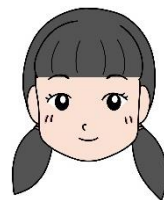
ほけんだより

令和5年5月号③
犬丸小学校 保健室

5月22日(月) ^{ない か} ^{けっかくけんしん} 内科・結核検診があります

＜保健室からのおねがい＞

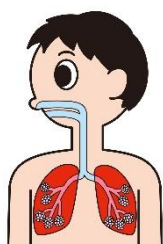
- ☐ ^{たいちよう} ^{ととの} 体調を整えるために、^{はや} ^ね 早く寝る
- ☐ おふろに^{はい} 入って、^{せいけつ} 清潔にする
- ☐ かみの毛が^け ^{なが} 長い人は、ゴムやピンでまとめる
- ☐ ^{あさ} ^{かお} 朝、顔をあらう
- ☐ ^{がっこう} ^く ^{まえ} ^{たいちよう} 学校に来る前に、体調がよいか確かめる



けんしん
検診をしてくださるのは
^{がっこうい} ^{にしき} ^{てつやせんせい}
学校医の西木 哲也先生です。



検診でみてもらうこと

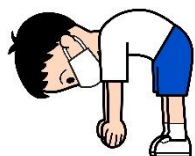


呼吸

ぜーぜーしていないかな？

皮膚

かゆいところはないかな？
ブツブツしていないかな？



背中・腕・足などの骨

^{しせい} 姿勢はいいかな？
^{うご} 動かしにくいかな？

心臓

^{きそくただ} リズムは規則正しいかな？



そのほかにも…【^{えいようじょうたい} 栄養状態】・【^{けっかく} ^{うむ} 結核の有無】など

※ 結核については裏面 “『結核』ってどんな病気？” をご覧ください。

ご不明な点やご質問等ございましたら、学校の中口までご連絡ください(学校TEL22-0812)

『結核』ってどんな病気？

～ 正しい知識と健康診断を～

『結核』は過去の病気ではなく、今でも日本において重大な感染症のひとつです。

結核とは「結核菌」を吸い込むことによって起こる感染症です。早期発見、早期治療は重症化を防止できます。

主な症状

●せき ●たん ●発熱 ※夜間のみ発熱することがある
●血たん ●胸痛 ●他にだるさ・寝汗など
せきの症状が2週間以上続いたら要注意です。

令和3年には、全国で11,519人、石川県で97人、南加賀地区で26人が『結核』を発病しています。（南加賀保健福祉センター事業報告より）

1. 『結核』は結核菌によって起こります。

「結核患者」の咳やくしゃみのシブキの中に結核菌がいて、周りの人がそのシブキを吸い込むこと＝空気感染 で『結核』はうつります。

2. 感染経過

結核菌を吸い込んでも、身体の免疫機能により8割以上の人は菌が抑え込まれたまま一生発病しません。しかし、身体の免疫力や抵抗力が低下すると、菌が増えて発病することになります。

痰（たん）の中に結核菌が出ていない場合は、他の人にうつす恐れはありません。また、急に発症する「はしか」や「インフルエンザ」に比べると「結核」は感染しにくく、発病もゆっくりとした経過をとります。

感染していても発病していなければ、他の人に感染させることはありません。

3. 上記の症状があったら受診しましょう。

胸部のレントゲン写真を撮れば『結核』を早く見つけることができます。

子どもたちは、学校での定期健康診断で問診票を基に学校医による診察をする ことが義務付けられています。